

泉地区 歳時記

- 1月
- 泉地区新年交歓会 ●葉山餅つき大会
- 2月
- 稲荷神社初午祭 ●北野神社梅花祭
- 3月
- 泉・渡辺地区マラソン大会
- 4月
- 泉地区歓送迎会 ●泉地区ゴルフ大会
- 5月
- 鹿島・泉神社祭礼 ●諏訪八幡神社例大祭
●下川三神社例大祭（出羽神社・津神社・根渡神社）
●いずみふれあいマルシェ ●泉地区対抗親善球技大会
- 6月
- 泉地区市民ハイキング ●泉婦人会健康教室
●泉地区子供ドッジボール大会
- 7月
-
- 8月
- 滝尻子供角力大会 ●泉ヶ丘自治会夏祭り ●泉盆踊り中央大会
●下川盆踊り ●玉露中央公園盆踊り ●泉もえぎ台盆踊り
●葉山夏祭り ●下川ささら祭り
- 9月
- 泉地区市民体育祭 ●滝尻無縁仏供養祭
●滝尻棒ささら宵祭り ●滝尻棒ささら奉納 ●泉地区芸能発表会
- 10月
- 諏訪八幡神社例大祭 ●玉露八幡白山神社例大祭
●泉ふるさと祭り
- 11月
- 泉地区ゴルフ大会 ●泉地区総合文化祭 ●鹿島・泉神社祭礼
●本谷御霊神社大祭 ●泉地区子ども会綱引き大会
●諏訪八幡神社新嘗祭
- 12月
- 泉地区一周駅伝大会 ●泉地区歳末警戒出動式

R4.12 改訂

泉地区地域振興協議会
お問合せ いわき市立泉公民館
〒971-8185 福島県いわき市泉町四丁目13-11
Phone (0246) 56-6045



1月 新年交歓会



3月 マラソン大会



5月 親善球技大会



6月 市民ハイキング



8月 盆踊り中央大会



9月 市民体育祭



10月 ふるさと祭り



12月 駅伝大会

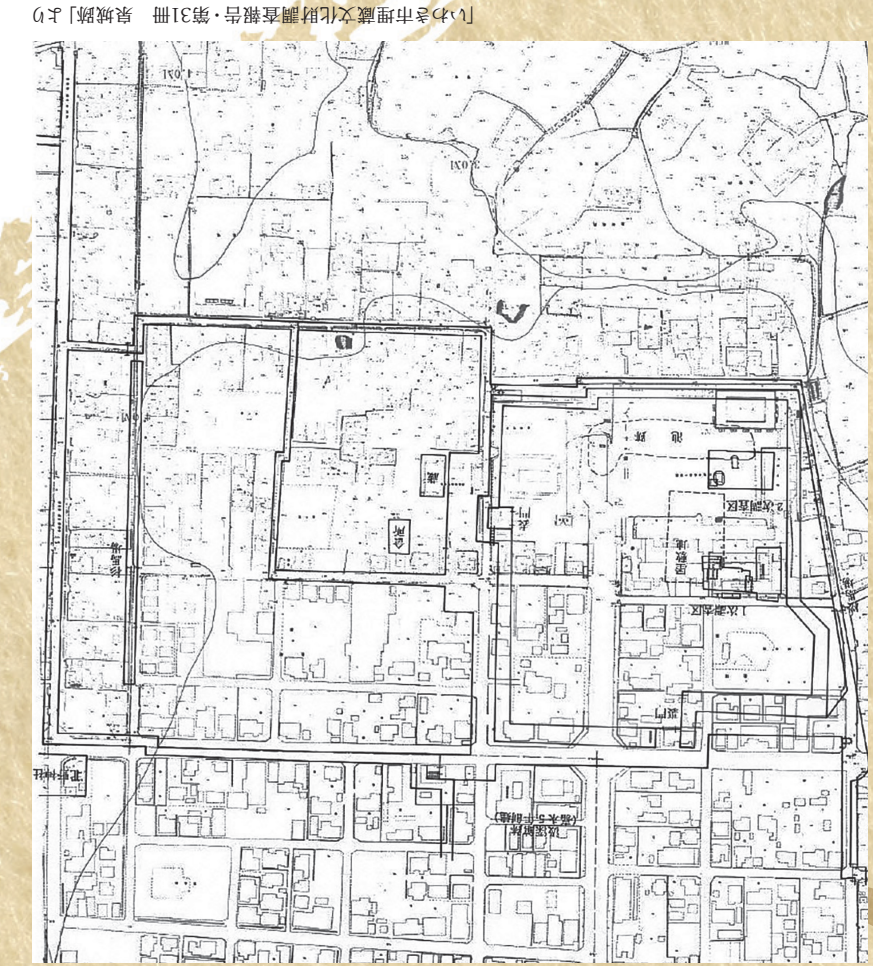
泉はひとつ 笑顔とふれあい

泉地区 Historic Spots Guide Map of Izumi 史跡 マップ



泉藩主本多忠義は、心学に入門すると同時にこれを厚く保護しました。寛政9年（1797）には東北最初の心学講社「善教舎」が設立され、藩の教化策として発展していきました。本多忠徳は、嘉永5年（1852）、泉城下に藩校「汲深館」を設立しました。『汲深』とは、藩主忠徳の書斎の名で、館には自筆の横額を掛けました。学習の内容は、漢字・兵学・砲術・軍道・算術・習礼などでしたが、廃藩とともにその幕を閉じました。

泉藩の心学と藩校



「いわき市埋蔵文化財調査報告・第31冊 泉城跡」より

毎日60人下級武士などが出て働き、村人も人足として駆り出され、磐城平藩からも多くの応援入足があり、泉城を中心とした城下町は、城を中心に武家屋敷が建ち、その外側に町屋が造られました。城の周囲には一重の堀があり、現在、堀は埋没し、内側にあった土塁がわずかに残っているにすぎません。

泉城の造営

寛文8年（1668）、二代藩主内藤政親は、菊田郡泉村と滝尻村の内に館および城下町の造営を始めました。城下町は、城を中心に武家屋敷が建ち、その外側に町屋が造られました。城の周囲には一重の堀があり、現在、堀は埋没し、内側にあった土塁がわずかに残っているにすぎません。



寛永11年（1634）、磐城平藩主内藤政長の死去により、家督を相続した忠興は、父政長の遺命により、自身の所領であった菊田領二万石を末弟の政晴に譲り、磐城平藩からの分藩として泉藩が成立しました。政晴の没後、子の政親が跡を継ぎ、寛文8年（1668）、菊田郡泉村と滝尻村の内に館および城下町の造営を始めました。政親の跡を継いだ政森は、元禄15年（1702）、上野国安中藩主板倉重同と領地替えを命ぜられました。享保2年（1717）重同の子勝清が家督を継ぎましたが、延享3年（1746）には遠江国相良藩へ転封となり、代わって同藩の本多忠如が泉藩へ入封しました。宝暦4年（1754）、忠如から家督を相続した忠義は、疲弊した藩の財政再建を図り、厳しい倭約令を出す一方、農地を整備し、風俗の矯正・民風の振興に尽力しました。また、松平定信に認められ、若年寄・御用人として定信とともに寛政の改革を推進し、寛政2年（1790）には老中忠義死去後、忠誠、忠知と続き、天保7年（1836）、忠知から家督を相続した忠徳は、奏者番や若年寄を任せられ、嘉永5年（1852）に藩校「汲深館」を設立し、文武の奨励と学問の興隆を図り、藩風の刷新に努力しました。万延元年（1860）、兄忠徳から家督を継いだ忠紀は、幕末の多難な時、寺社奉行や奏者番として、二度にわたる若年寄として幕政に寄与していました。慶応4年（1868）に戊辰戦争が始まると、はじめは新政府軍に恭順の意を唱えていましたが、仙台・米沢藩の要請に応じ、奥羽越列藩同盟に加わり、抵抗しました。この結果、新政府軍の攻撃を受け、泉城は陥落した。

泉藩の成立から廃藩まで